

フォトロン メディカル イメージング

<https://www.photronmedicalimaging.co.jp/>

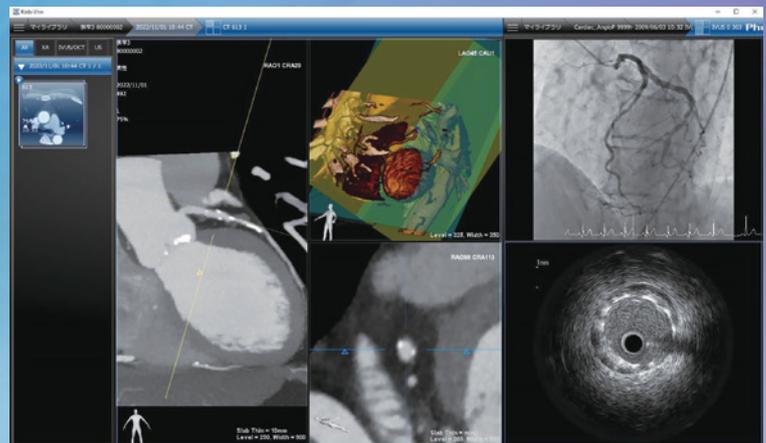
未来につながる次世代医用画像コミュニケーション

[主な紹介製品]

- DICOM動画ビューワ
「Kada-View」CT Viewer オプション
- 透視像収録システム「Kada-Rec」/
術場映像収録配信システム「Kada-Live」
- レポートシステム
「Kada-Report」 植込みデバイス遠隔
モニタリング連携オプション



透視像収録システム「Kada-Rec」/術場映像収録配信システム「Kada-Live」



DICOM動画ビューワ「Kada-View」CT Viewerオプション



レポートシステム
「Kada-Report」
植込みデバイス
遠隔モニタリング
連携オプション

●DICOM動画ビューワ 「Kada-View」 CT Viewer オプション

DICOM動画ビューワ「Kada-View」の新機能を搭載したCT Viewerオプションでは、Sliding slab MIP機能により冠動脈の近位部から遠位部までを迅速かつ簡便に連続して観察でき、カラーマップやグラデーションカラーマップ機能により病変性状を簡便に推測できる。手技中において術前CT画像をAngio画像と同時に表示し、それを参考に病変の形状を確認しながらPCIを施行できる。

WindowsやMacなどのマルチプラットフォームに対応、エコー計測機能も充実しており、独自のインターフェイスによりユーザビリティに配慮した設計である。複数動画を、画面に表示されている状態のまま1つの汎用ファ

イルに変換できる機能は学会発表用資料の作成にも活用できる。

Angio、IVUS、US、CTなどの、DICOMデータを同時に表示し、適切に病変を観察できる。

●透視像収録システム/術場映像収録配信システム 「Kada-Rec」 「Kada-Live」

バージョンアップした透視像収録システム「Kada-Rec」は、従来の透視像収録の他にIPカメラ映像も同時に収録できるようになり、多様な情報を記録・収録し手技の詳細を振り返ることができる。

収録した映像は術場映像収録配信システム「Kada-Live」により院内にライブ配信し、医局やカンファレンス室から検査映像をリアルタイムに確認でき、術者と音声やチャット機能でコミュニケーションを図りながら手技を支

援することが可能である。

オペ室/カテ室の術者映像、手元カメラ、内視鏡カメラ、生体モニターなどの映像収録システムとして幅広い活用が期待できる。

●レポートシステム 「Kada-Report」 植込みデバイス 遠隔モニタリング連携オプション

循環器部門向けレポートシステム「Kada-Report」はPCI、EVT、EPSなどのカテフォームと生理検査用のエコーフォームを標準実装している。各デバイスメーカーの遠隔モニタリングシステムと連携できるオプションにより、アラート通知、計測数値、エピソードデータと併せて添付PDFを管理でき、遠隔モニタリング情報や外来チェックのステータス記録の管理をより簡便にし、電子カルテとも連携することで効率的なワークフローを実現できる。